

(1) 情報化基本計画検討懇話会提言書の提出

会長 我々情報化基本計画検討懇話会は、ここまで7回の会議を開催してきました。その中でいろんな意見を交わしてまいりましたが、それを集約した結果が、今日町長にお渡しいたします「情報化基本計画策定に向けた懇話会提言書」となっております。

懇話会のメンバーは、精華町の住民を中心といたしまして、町内で事業をされている方やボランティア団体で活動をされている方、学識経験者等、それら様々な分野の方々を集合した形で構成されております。

平成22年の9月に第1回の会議を開催いたしまして、それから平成22年度末までの間、現行の情報化計画の進捗状況についての総括を行いました。翌23年度には、これから先の新たな目標を策定するための資料とするためのアンケート調査を実施させていただきました。そのアンケートの結果を中心に、委員からの意見をまとめたのが今回提案させていただきます提言書でございます。

提言書の内容といたしましては、「情報が伝わる 心がかよう ひとつつながるまち せいか」、これを目標のベースに置いております。中身といたしましては、ICT、すなわち情報通信技術、による安心安全な町。それからICTですべての人がつながる町。誰もが行政情報サービスの利便性を実感できる町。この3つの観点に集約して、意見をまとめさせていただきました。それらの内容は、今後の精華町で情報化施策を実行する上におきまして、重要な示唆を含んでいる内容が多々含まれていると我々は思っております。

精華町におかれましては、ぜひともこの提言書の内容を精査いただき、その内容に沿った施策を今後展開していただくことを要望させていただきます。本日提出いたします提言書のまとめとご紹介とさせていただきます。ありがとうございました。

渡辺懇話会会長から木村町長へ、情報化基本計画策定に向けた懇話会提言書を提出いただきました。

(2) 町長謝辞

町長 ただ今、渡辺会長より、次期情報化基本計画策定に向けての、懇話会からの提言書をいただきました。懇話会委員のみなさまに置かれましては、公私きわめてご多用の中、約3年間の長きにわたり、各々専門的なお立場から、また、住民目線での、本町の情報化についてご議論いただいてまいりました。町政を預かる者として、その姿勢に非常に頭が下がる思いでございます。

 情報化という、非常に進展の速い分野において、如何にしてそのメリットを住民サービスの向上に活用するか。また、今後発生することが予想されております東南海・南海地震を始めとする、様々な大規模自然災害の発生時に、情報通信技術をどのように活用することができるか。一方では、情報化の進展に取り残されて、不利な立場に追いやられてしまう方が出ないようにするには、どうすれば良いか。これらの問題については、行政に突き付けられた大きな課題として、私も認識をいたしております。

 それらの課題に対する一つの答えとして、これより本格的に策定作業が開始いたします、情報化基本計画があるわけでございますが、その策定の過程においては、本日ご提出いただきましたこのご提言の内容が、我々の進むべき方向を指し示す道しるべとなることを、私は確信いたしております。

 行政としてあい足りないところは種々あったのではないかとと思いますが、委員のみなさま方におかれましては、この機会もひとつのご縁として、今後とも町政全般につきまして、ご指導・ご鞭撻を賜れば非常に幸いと存じます。

 委員のみなさま方、本日を含めまして、この8回にわたる懇話会にご出席をいただき、誠に有難うございました。簡単ではございますけれども、感謝の言葉を申し上げまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。どうも皆様ありがとうございました。

 この後、提言書の内容に基づき、事務局にて今年9月を目途に情報化基本計画の素案を作成すること、作成した素案についてパブリックコメントを実施し、町民の皆様方のご意見を踏まえて内容の調整を行うこと、その後、町長を本部長とする情報化推進本部での承認を以って情報化基本計画の完成とすることについて、事務局から説明した上、閉会しました。